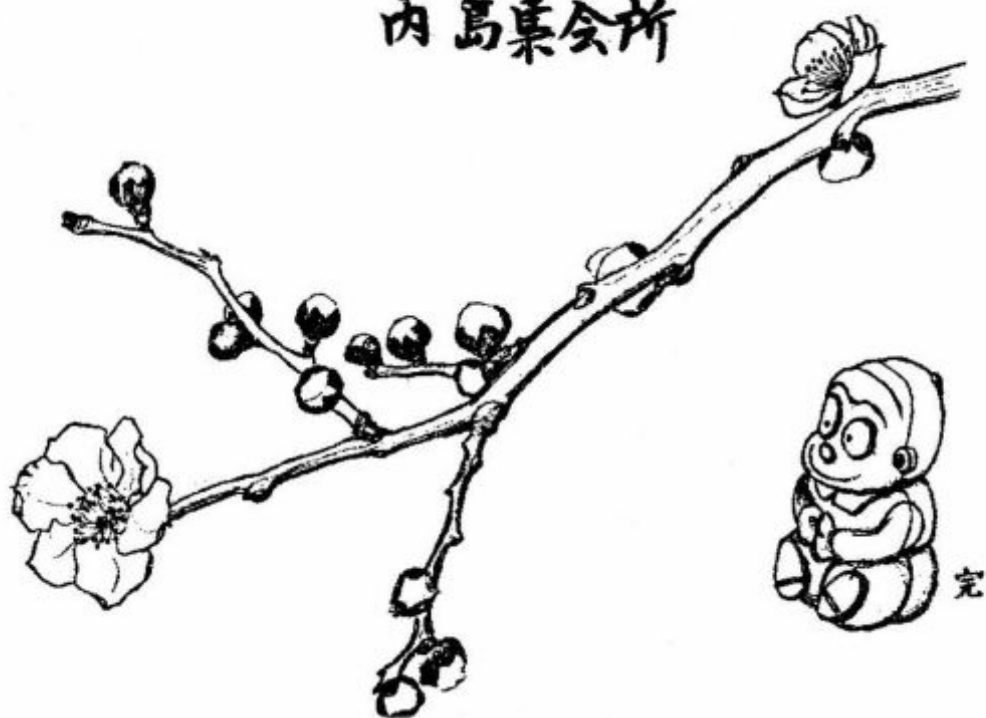


第1回 田口町文化祭の記録

とき 昭和63年12月11、12日
ところ 田口町公民館
宝林寺
内島集会所

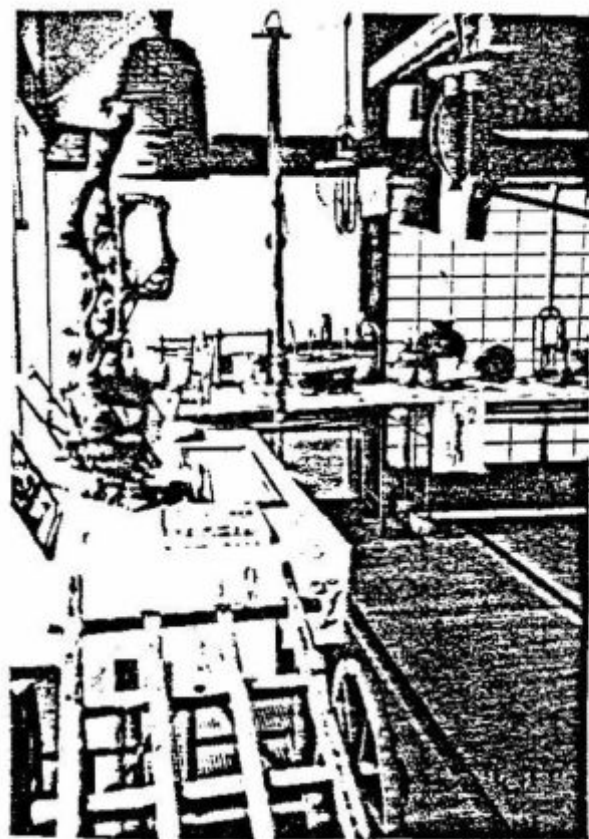


完

主催 田口町文化祭実行委員会
共催 田口町自治会
生涯学習奨励員

目 次

一	文化祭スナップ	1
二	実行委員長挨拶	3
三	委員会組織	4
四	記録	
	1. 企画会場部	9
	2. 書道部	10
	3. 絵画部	11
	4. 文芸部	11
	5. 手工芸部	12
	6. 収蔵美術・民具部	12
	7. 写真部	14
	8. 華道部	15
	9. 子ども会育成会の部	16
10.	会計部	18
五	生涯学習奨励員所感	19





孟夏
之月

千里鶯啼綠映紅
水村山郭酒樓風
南朝四百八十寺
多少樓臺煙雨中

元和六年

一說

多如...
...
...
...



あいさつ

実行委員長

塩原 總平

第1回田口町文化祭が、12月11日、12日の両日極めて盛大に立派に行われたことは町内皆様の理解と、実行委員の団結・熱意による賜ものであり、ここに改めて厚くお礼申しあげます。

近頃「ふるさと創生」という新しい言葉を耳にしますが、田口町に於いてはマスコミが報道する前に「田口町創生」の為自発的に自力で文化祭を計画、立案し実行に移したことは、皆様ご承知の通りであります。

半年に及ぶ準備期間から、終了後の反省会に至るまで、すべて手弁当で、ひたすら成功に向かって黙々として邁進した結果であり、私達実行委員は胸を張って、やった、やった、やったと心の中で叫びました。田口町バンザイ、バンザイ、金のかからない「ふるさと創生」の一つではないかと思われま

す。一会場では狭いので三会場を使用すると共に、一般の文化祭より1か月遅らせたこと、並びに舞台発表関係は後日の課題として、展示部門のみに絞ったことなどが結果として良かったのではないかと思います。

なお、お祝いを下されました町外の方々に厚くお礼申し上げます。

平成は正に生涯学習の時代です。

これからも田口町の文化向上の為皆で力を合わせて頑張りましょう。

終わりに、南橋公民館の館長以下職員、並びにご協力下された皆様に感謝申しあげ挨拶と致します。

田口町文化祭実行委員会組織

実行委員会

委員長 塩原 總平

自治会

会長 須川 三男

副会長 塩原 成一郎

塩原 優

島田 与四男

生涯学習奨励員

顧問 下田 初次

副委員長

書道担当	塩原 榮太郎
絵画担当	青木 次男
文芸担当	塩原 貞昌
写真担当	武井 源太郎
手工芸担当	高橋 昭一
華道担当	須川 博吉
民族美術民具担当	塩原 久美

書記

芝田 精一
石平 三千代

会計

稲葉 信雄
下田 幸造

監査

芝田 正一
片桐 庄七

企画・会場

塩原 四郎
伊能 巧
塩原 昌治
萩原 貞夫
金子 進一

委員

田村 勝利
佐藤 茂司
岩崎 兼保
吉野 秋太郎

専門委員

書道 ◎青木茂平
平林とめ子
佐藤正人

絵画 ◎岩崎了一
田中正夫
広沢政平
今井芳子

文芸 ◎塩原 洸
塩原信司
天野鈴子
豊島トキエ

写真 ◎長岡和男
高橋芳房
生形ヒサエ

手工芸 ◎金子 誠一
青木まさ子
久保田絹子

華道 ◎大友郁子
広沢せつ

観劇委員 ◎塩原真資
塩原四郎
塩原光治
原 佐知子

育成会 ◎塩原孝之
下田繁夫
飯田邦彦
須川武則

第一回田口町文化祭議事録

第一回実行委員会 8月30日午後7時 田口町公民館

通知人数55名 出席者32名

- 議決
- イ. 実行委員会組織及び委員の承認
 - ロ. 田口町文化祭開催要項の承認
 - ハ. 今後の事業推進につき2点議決
 - 1 主意書及び開催要項の各戸配布
 - 2 各部会の活動及び情報交換

第二回実行委員会 9月29日午後7時 田口町公民館 出席者43名

- 議事
- イ. 文化祭開催に対する町民の意向、関心についての情報発表
委員長及び各部長
- 議決
- ロ. 出品者記念品の件 1人1点とす
 - ハ. 経費の件 場所、日時、申込方法等
 - ホ. 即売品を認める

出品仮申込 自治会事務所

10月29日午後1時～5時 30日午前8時～12時

受付 書記外

申込は個人及び各部長 申込数別記の通り

第三回実行委員会 11月17日午後7時 田口町公民館 出席者40名

- 議事
- イ. 出品仮申込数の報告 書記各部長
書66点 絵画26点 文芸45点 写真30点
手工芸43点 華12点 収藏品88点 育成会書絵105点
- 議決
- 会場の件
 - 第1会場 公民館 書、絵画、文芸、手工芸
 - 1 第2会場 宝林寺 収藏品
 - 第3会場 内島集会所 写真、育成会書絵、華道

- 2 会場作り 12月8日午後1時より
- 3 各部の資材、パネルの必要数の報告
- 4 記念品、価格の件、委員長一任
- 5 招待状の件 南橋公民館に委託
- 6 育成会の展示を12月4日とする

第四回実行委員会 12月3日午後7時 田口町公民館 出席者35名

- 議事 1. 出品数及び出品者数の報告 書記
- 議決 2. 記念品の発表(委員長)決定
3. 御祝儀の受付は第1会場とする
4. 委員慰労及び反省会の件(別記の通り)
5. 各会場責任者3名決定
6. 夜警の宿直はしない
7. 開催中の食事の提供はしない

会場作り 12月8日午後1時～4時

各部より2名その他の役員 計23名3会場に分担し作業

会場別資材使用数

	パネル	机(高)	机(低)	掛布	ビニール	蛍光灯
第1会場	29枚	7脚		21m		4本
第2会場	4枚	14脚	15脚	30m	8m	1本
第3会場	13枚		8脚	14m	12m	

各会場とも受付用机は別

展示品の搬入展示 12月10日午前9時より 各会場
 搬入受付まで出展者とし、飾付けは委員がする
 確定出品者数及び点数

部 別	人 数	点 数
書 道	35	67
絵 画	16	25
文 芸	28	38
手工芸	33	79
写 真	17	49
華 道	11	11
収蔵品	70	220
育成会		114
合 計		603

外に即売品、寄贈品の提供あり

展示品の搬出及び会場の整理 12月12日午後1時 委員全員
 搬出は出品者が行う
 展示用資材の返納は、南橘公民館、老人センター午後4時全作業
 終了 座談会

各会場の入場者数	11日	12日	計
第 1 会 場	323人	58人	381人
第 2 会 場	261人	53人	314人
第 3 会 場	231人	44人	275人
合 計	815人	155人	970人

反省・慰労会 12月18日午後7時 田口町公民館
 会費1000円 申込者43名 出席者37名
 イ. 会計報告(会計係)承認
 ロ. 即売品売上金の寄贈報告
 ハ. 感想発表、委員長、各部長

企画会場部

塩原 四郎

第1回の文化祭で全てが初めてのことであり、企画及び資材の準備から、会場作りまで、苦心の連続であった。まず出品数量が開催直前まで把握できなかったこと。次に会場作りが、多数の展示品をいかに効果的に、又観やすいように作るかであった。

会場係りは初めての文化祭を、是非成功させたいと熱意をもって取組、知恵を出し合い技術を生かして、計画実行に当たりました。幸い他の部との連絡協調もスムーズに進んで、お陰様で、各会場とも立派に会場作りが出来ました。又、準備から最後の整理納入に至るまで、事故や損傷もなく、整然と行われたことも大きな成果と思います。又、会場作りの際には、物心に亘り御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

企画会場係の記録

1. 第2回会場部会 11月14日 全員出席
議事 イ. パネルの搬出入を受持つこと
ロ. 会場の各部会展示コーナーの設定
ハ. 照明器具の設置について
ニ. 町内立看板会場の看板作成の件
2. 立看板の設置 12月3日 町内主要地5カ所
3. パネルの搬入 12月3日 第3会場 11枚
第3会場のパネル配置図面の作成
4. 第3回会場部会 12月7日 全員出席
議事 イ. 第1会場のパネル配置図面の作成
ロ. 各会場の必要資材の検討(机その他)
ハ. パネル搬入の打合わせ
5. パネル搬入 12月8日午前10時 5名トラック3台
借入先 パネル 柱
南橋公民館 25 26
前橋老人センター 10 20
6. 会場作り 12月8日午後1時 全員出席
会場係作成の図面を基本として各部と協議の上、予定通りに出来。

7. パネルの搬出返納 12月12日午後3時 全員 トラック4台

蛍光灯4コ(公民館設置)自治会にて買取る

各部会の資材使用控

	パネル	机(高)	机(低)	掛布	ビニール
書道	18面				
絵画	10面				
文芸	8面				
手工芸	3面	7脚		21m	
収蔵品	8面	14脚	15脚	30m	8m
写真	12面				
華道			8脚	14m	12m
育成会	16面				

書道部

青木 茂平

多数の出品者の皆様のご協力により、第1回としては立派に出来たのではないかと思います。しかし、出品者名簿をご覧いただくとわかりますが、出品者の8割りは女性で、男性は2割りです。恐らく、男性の方々は第1回の文化祭ということで戸惑いがあり、ためらわれたのではないかと思います。

今回で様子がわかりましたので、次の機会には是非男性の方々の多勢のご参加を期待します。

書道出品者

岩崎佳子・岩崎うめ・青木茂平・青木英昭・岩崎みの子・船津まつ・柄沢さ
 わ子・岩崎チオ・吉野きり・金子とし・奈良スミ子・今井芳子・佐藤正人・
 塩原八代江・小池ます・塩原位枝・宮下浪江・塩原信司・金田ナツ子・吉田
 八千代・小林伊知子・中沢ハツ江・高橋和子・塩原益・金子誠一・塩原總平
 塩原光枝・天野鈴子・青木貞子・山崎由美子・小池吉江・嶋田とみ江・石田
 文江・下田初次・高橋増江

絵画部

岩崎 了一

絵画部としては文化祭といっても第1回なので果たして会場の一劃を埋める事が出来るかが心配でしたが、町内でこんなに絵を描いている人が居たのに驚き、また心強く思いました。立派に絵画のコーナーを埋めて文化祭に華を添えたことは出品者皆様のご協力と、深く感謝致します。

特に塩原友子・高木周平両先生の貴重な作品を会場に飾らせてもらった事は本当に良かったと思います。厚くお礼申し上げます。

しかし、各部の出品者数にくらべて当部の出品者数が少ないのが残念です。今回で大体の様子も解ったと思いますので、次の機会にはより多くの皆様の参加を期待致します。

絵画出品者

岩崎了一・栗原道雄・今井芳子・今井充俊・大友郁子・佐藤茂司・塩原八代江・田中正夫・高橋和子・広沢政平・新島百合子・塩原友子・山田政治・石田文江・下田初次・高木周平

文芸部

塩原 洗

待望の田口町文化祭もいよいよ開幕して、町内文化の殿堂が開かれた。かくされた個人個人の芸術が展示されてその見事さに驚きました。

われらが文芸部としても、俳句・短歌・詩ときれいに飾られ、人それぞれが持つ名想に感を打ちました。次回にはまだ同好者が居ると思いますので、より多く出品され、たがいに文化の向上をはかりたいと願うものです。

短歌の部出品者

豊島とき江・小池キヨ・高橋増江

詩文出品者

小池清六

俳句の部出品者

青木茂平・岩崎了一・下田初次・萩原房男・天野鈴子・塩原總平・田村淑・金子さわ・塩原貞昌・伊能秀明・角田豊・塩原シヅ子・塩原さだ子・金子光雄・青柳しづ江・田中正夫・塩原信司・塩原節子・萩原貞夫・小池ます・鳥山一江・塩原カズ・河井十記子・塩原洗

手工芸部

金子 誠一

参加された皆さんが各自苦勞の作品を多数出品下されて賑やかに陳列出来たことに厚くお礼申し上げます。

ただし第1回として特に手芸部については町内の皆さんが出品物等その内容もはっきりせず、一応遠慮したり、又私達も自分の足でもっと各家庭を訪ねて、出品方を啓蒙すれば今回もなお一層盛大な結果になったのでは……と思われました。(委員の少ない手芸部)

終わってから思われることは、最初の出品申込みの点について、その委員が部にこだわらず、全部の申込みを受け入れて、後で部ごとに整理するような方法も考えられます。

こんなことも今後の文化祭にあたって一考してみたらと思われまます。

手芸部出品者

下田かつ子(木彫)・萩原利男(薬細工)・柄沢さわ子(刺繍品)・岩崎康広(焼物)・金子富紀江(焼物)・須川登喜子(編物)・塩原ヤス(和紙手芸)・生形ヒサ江(コイン手芸)・須川貞子(編物)・樋口くに(手芸品)・金田ナツ子(ろうけつ染め)・原佐知子(木目込人形)・塩原由子(手編セーター)・片桐晴子(三脚椅子、セカンドバック)・久保田絹子(木目込人形)・吉田八千代(手芸作品)・河井十紀子(あみもの)・塩原由美子(組みひも)・塩原みや(人形)・広沢政平(工芸木彫)・金子誠一(ひょうたん)・金子さわく(ヒモ手芸)・金子ひで(紙細工)・塩原セイ子(紙細工)・石平三千代(マクラメ編み)・塩崎キク(コイン手芸)・下田はま(小物入れ)・砂川暉世(経机、文机)・芝田ふく(チギリ絵)・芝田敏子(手編セーター)・高橋和子(造花)・大木潤子(造花)

収蔵美術民具部

塩原 真資

連日静かな晴天に恵まれた文化祭が遂に終わり役員一同ほっとする。

今回町内初めての文化祭開催にあたり、準備期間中より、あれこれといういろいろな不安を抱きつつ、最終日の昼過ぎより出品物の引渡し、机、パネル等、仮設物の取り払い、そして広い会場の掃除まで、思ったほど以上に円滑に事が運ぶ。

最後に休息室に役員みな揃い熱いお茶を飲みながら、初回の文化祭としては、まず「成功」と、互いに心より喜び合う。

特に我々の担当部門である収蔵品は、それぞれ町内各家庭のまたと得られ難い秘蔵品だけに、当初より取扱に神経を使ったが、出品者各位の、ご協力により少しの手違いもなく無事終了することが出来たことに対して、心より感謝申し上げたい。

加えて会場が宝林寺の本堂に当てられたお陰で雰囲気もよく、展示、観覧、そして管理面等においても誠に申し分なく感じられた。強いて言うならば、いま少し広いスペースと、来訪者の自動車の駐車場が完備するなれば最高と思う。

このたびの文化祭の成功を顧みて「田口よい町、人の町」に生をうけた喜びを心より感ずると共に地域文化の発展を大いに期待してやまない。

収蔵美術民具部出品者

砂川仁作（勲六等旭日章・百瓦秤）・岩崎富雄（金鷄勲章・勲八等白色桐葉章）・青木茂平（古文書）・岩崎四郎（学校生徒の机・大黒様）・岩崎佳平（古文書）・塩野佐一郎（明治初期教師の辞令）・砂川清作（家相方位の図）
岩崎ユキエ（掛軸）・岩崎了一（つるべ井戸の滑車・藁草履作り台）・藤井初太郎（山砲の砲弾）・塩原成一郎（寺小屋の机）・塩原聖一（袴袴・掛軸・古文書）・須川治計（天秤銜・義太夫見台）・塩原栄太郎（顕微鏡・「亦昔」年次標本罫）・金子進一（古文書10冊）・島田始治（耕地整理の図）
都丸孝一（鉤竹・扇風機）・須川三男（マブシ織り機・綿操り機）・須川清（掛軸）・竹内竹士（古硬貨・紙幣・硯箱）・須川博吉（橘神社上棟記念写真・橘神社新築契約書）・須川和雄（掛軸）・今井篤美（矢立・酒徳利）・塩原虎之助（無幻道人書・木簡）・塩原貞昌（掛軸）・萩原トシ（毛糸つむぎ機）・塩原潤一（古文書）・塩原昌治（十手）・塩原甲（百人一首）・小池幸太郎（新町天王宮壳渡登記書）・塩原優（田口築写真原版・写真）・塩原光治（剣術の極意書・手鏡・火の用心鐘）・塩原真佐美（牛馬用万敷）
吉田金重（快勝日報野戦用）・塩原真資（第2次大戦新聞）・塩原進（薬籠・乳鉢）・関口要助（古銭箱入）・金子誠一（常滑壺・椅子）・須川武則（荷車）・下田薫（掛軸）・塩原四郎（鍋・徳利）・塩原久美（薬研・石臼・高

級官吏月給表)・大島港(山桜の根・田口学校卒業証書)・塩原總平(裃・
露灯・陣笠)・塩原隆明(荒物小売鑑札)・田村孝之(矢羽・木挽き鋸)・
天野弘幸(手鏡・つば)・石平嘉二(座繰り機)・青木次男(大工道具一式)
塩崎キク(天皇陛下・皇居の四季写真集)・小池相治(明治時代の写真・馬
車時代のラッパ)・小池実(槍長短2本)・小池和雄(掛軸)・萩原房男
(小学校教科書・蚕の種紙・箱枕・枕行燈)・吉野次男(剣術免許の軸)・
砂川やの(蓄音器・レコード)・大島光雄(辞書)・稲葉信雄(大宝院古文
書・稲葉家先祖法名)・砂川和允(暖簾)・芝田一郎(日章旗)・芝田秀雄
(天皇陛下即位写真・秤)・高橋滋信(柱時計)・高橋昭一(松平大和守御
家中・赤紙召集令状)

★寺另行出品

芝崎喜美(屏風)・桂昌寺(書)・宝林寺(棟札)・八幡地区共有(掛軸)
田尻地区共有(大数珠・鏡太鼓共)・新町地区共有(御祝儀道具一式)・
原佐知子収集(前橋領田口村御年貢可納割付事・近代学校のはじまり・官立
学校設立伺い・田口学校沿革誌・同書籍名簿・就学状況等調べ・学校付属地
小作帳・田口村堂・宮・寺院、御書上の事・御蔵入大豆書上・麦、社倉、積
石、御書上帳・御帰城願書・宝林寺議定書・目明かし源次郎古文書)

写 真 部

長岡 和男

写真部の責任者に指名され困ったことになったものだと不安になる。果たして無事に勤まるだろうか。桐生市なら友人多く知名度もあり困ることも無いのだが、田口町では町民になって2年少々何もわからず、この大役を果たすことが出来るかと迷ったものだった。

幸い副委員長の武井さんが真剣に動いてくれ指示を頂きまして、高橋・生形両氏の協力を得て、成果も私としては上々と思います。出品も50点近く、作品も良いものが展示され参観者の感銘を受けたことは大成功と存じます。しかし未だ反省することも多々あり改良すべき点も多いと思います。第2回の文化祭には多くの方々の意見をいただき、良い役員の方を選出して、写真部が文化祭の名物になる様にしたいものです。

最後に次回の文化祭には県住、佐田住宅の参加と協力を得たいことを望み

所見、反省を終わります。

写真部出品者

岩崎了一・清水博・栗原里子・須川恭寛・塩原正之・佐藤茂司・生形ヒサエ
・高橋芳房・金子誠一・田村宗市郎・武井源太郎・武井征二・萩原房男・長
岡和男・大越長一・樋口作太郎

華道部

大友 郁子

最近自由な時間が持てるようになったので、私は町内の知り合いを訪ねる機会が多くなりました。

玄関を入るとその家の文化の程度がなんとなく感じ取れることはどなたも経験することと思います。(〇〇の名取・〇〇の免状)とか。そんなおり町内の文化祭についての会議の連絡を受けました。広沢さんと私は華道部門とことなので、出瓶して下さる方の勧誘を始めましたが、皆様遠慮がちで、最終的には11瓶になりました。

第1回目のことなので、作品についてはあまり気負わず、だれにでも馴染めるような物にしました。これは鑑賞なさった方々が、この位なら今度私も出せる。出瓶しようと思ってほしいという気持ちからでした。

会場構成については、採光や空間が狭いので難点はありましたが、責任者の方々のお骨折りで、狭いながらも花展会場らしく出来たと思います。

華道部出品者

大友郁子・塩原弘子・樋口くに・塩原松美・塩原良子・塩原由美子・広沢セツ・諸田陽子・新島由里子・小此木留美・斉藤ヨシ

子ども会育成会書道

学 校	学 年	氏 名
桃川小	1年	関 美 幸
	2年	品 川 理 恵
	3年	岩 崎 絃 子
	3年	芝 田 剛 治
	3年	芝 田 亜 弓
	3年	吉 野 知 子
	4年	阿佐美玲奈
	4年	大 島 達 也
	4年	柄 沢 悦 子
	5年	小井上恭子
	5年	関 真 由 美
	5年	飯 田 勝 彦
	5年	塩 原 祐 美
	5年	岩崎友紀子
	5年	吉 野 泰 子
	6年	吉 野 裕 子
	6年	芝 田 紗 織
	2年	花村奈津美
	2年	青木麻依子
	2年	藤井さおり
	2年	芝 崎 法 承
	3年	糸 井 智 彦
	3年	野 島 千 里
	3年	塩 原 絵 美
	3年	芝 田 和 美
	1年	品 川 洋 輔
	1年	大 島 麻 衣
	2年	石 田 善 志
	4年	鈴 木 浩 吏
	4年	砂 川 明 弘
4年	大 島 綾	

学 校	学 年	氏 名
桃川小	5年	小野坂伸幸
	5年	芝 田 敏 紀
荒牧小	4年	芝 田 和 美
	4年	長 沼 好 幸
	3年	佐 藤 美 弘
	3年	須 川 雅 史
	3年	塩 原 秀 紀
	4年	小泉加代子
	4年	塩 原 沙 織
	4年	亀 山 陽 子
	5年	須 川 和 紀
	6年	後 藤 友 美
	4年	柳 田 春 樹
	5年	塩 原 昭 則
	5年	都 丸 省 吾
	5年	萩 原 亮 子
	5年	石 田 めぐみ
	4年	岸 沙 織
	2年	長 沢 めぐみ
	3年	須 川 純 一
	1年	岸 香 代 子
	1年	木 村 和 史
1年	長 沢 雄 一	
2年	木 村 春 美	
2年	小 池 瑞 樹	
1年	佐 藤 香 織	
3年	伊 能 史 子	
3年	塩 原 照 美	
3年	佐 藤 由 美	
南橘中	1年	塩 原 由 利 子

子ども会育成会糸会画

学 校	学 年	氏 名
桃川小	1年	芝 田 茜
	1年	芝田寿々子
	1年	品 川 洋 輔
	2年	藤井さおり
	2年	高 橋 俊 信
	3年	秋 沢 昌 子
	3年	岩 崎 絃 子
	3年	芝 田 亜 弓
	4年	芝 崎 和 美
	4年	長 沼 好 幸
	5年	塩 原 裕 美
	5年	岩崎友紀子
	5年	小井土恭子
	2年	青木麻依子
	2年	長谷川英理子
	2年	羽 鳥 顕 子
	3年	吉 野 知 子
	3年	塩 原 絵 美
	3年	糸 井 智 彦
	4年	大 島 達 也
	4年	栗 原 美 幸
	5年	芝 田 敏 紀
	1年	芝田さつき
	1年	大 島 麻 衣
	1年	塩 原 明 美
	3年	芝 田 和 美
	3年	石 田 善 志
	3年	芝 田 剛 治
	1年	関 み ゆ き

学 校	学 年	氏 名
荒牧小	1年	岸 香 代 子
	1年	小 泉 里 子
	1年	佐 藤 香 織
	3年	須 川 純 一
	3年	小 泉 章
	3年	佐 藤 美 弘
	3年	佐 藤 由 美
	3年	奥 沢 純 子
	4年	岸 沙 織
	4年	樋 口 康 弘
	5年	萩 原 亮 子
	2年	天 野 聡 美
	2年	木 村 春 美
	2年	長 沢 めぐみ
	2年	塩 原 千 鶴
	2年	狩 野 詠 美
	2年	塩 原 裕 通
	4年	柳 田 春 樹
	1年	長 沢 雄 一
	1年	大 島 和 也
3年	佐 藤 美 弘	
6年	蟻 川 良 太	
南橋中	1年	岩 崎 三 和
	1年	塩 原 由 利 子

昭和63年度第1回田口町文化祭収支決算報告書

昭和63年12月18日

収入の部

NO	科目	決算額	付記
1	文化祭費	121,095円	田口町自治会から初度50,000円 最終71,095円
2	祝金	28,850円	祝金17,000円6名 即売益金寄付11,850円5名
	合計	149,945円	

支出の部

NO	科目	決算額	付記
1	事務用品	770円	ゴム印2個 田口町文化祭実行委員会 (縦・横)
2	印刷費	21,000円	文化祭要項14,500円出品者名簿、 案内状印刷用紙代6,500円
3	資材費	34,275円	展示用資材14,515円 会場資材19,760円
4	会場費	13,400円	お茶4,400円 みかん5,940円 菓子1,920円 ジュース1,140円
5	記念品	59,900円	出品者・委員@200×221箱 44200 お祝がえし@400×33箱 13200円 のし紙印刷2,500円
6	謝礼	8,000円	借入資材謝礼@2000×4箱
7	会議費	12,600円	みかん1箱2,600円 反省会茶菓10,000円参加43名
	合計	149,945円	

総収入149,945円－総支出149,945円＝残金0円

田口町文化祭を省みて

生涯学習奨励員 下田 初次

1. 文化祭が生まれるまで

昭和60年度 自治会予算に文化費が計上された。

この頃から“文化祭”“文化祭”という声がささやかれた。

昭和61年度 市教委（社会教育課）民族調査が行われた。

田口町の古老（8、9人）との座談会

昭和62年度 雷雨による水害（3回）

田口町音頭の作成

昭和63年度 発起人（4人）と自治会本部との話し合い。

2. 文化祭実行委員会が組織される。

実行委員長	副委員長（7）	専門部	書記	元自治会
自治会本部	元自治会長		会計	宝寿会役員
奨励員			監査	

3. 文化祭 実施しての感想

- (1) 文化祭が生まれようとする素地ができていた。
ということは参加人員（出品者）201人に対し、その点数が489点の多きに上がったという事実だけでも証されると思う。
- (2) 実行委員会組織がよく生かされたと思う。
特に副委員長が各専門部を担当されたこと。これは各部においても副委員長と共にというので、励みがつき自信を持って当たられた。
- (3) 出品について 特に優秀なる作品が展示されたこと感謝申し上げたい。
- (4) 収蔵、美術民具の部では、早くからその募集管理に意を用い、丁寧な扱って下さったこと感服の他ない。
- (5) 内島集会所、入場観覧者の少なかったのは、各家庭の人的構成上やむを得ない点もあると思う。しかし集会所紹介の点では効果があったと思う。

4. 文芸作品「田口の郷の四季の詩」

- (1) 四季のうつりかわりと農村作業の関係がよく表現されている。
むかしと今を上手に取りまぜての表現も立派。
- (2) 南橋公民館
広報なんきつ 3回シリーズにて連載・冊子作成 感謝申し上げたい

編集 文化祭実行委員会
表紙 金子誠一
カット 岩崎了一